

突然に発症した腰背部痛

55 歳男性 書籍 906 頁参照

現病歴： 昨晚, 会社の歓迎会があった。今朝の起床時に左側腰背部痛を自覚し, 通勤途中に悪心も出現したため来院した。

既往歴： 特記すべきことなし。

生活歴： 22 歳より会社勤務, 喫煙歴なし, 飲酒歴は 3 合/日を 35 年間。

家族歴： 特記すべきことなし。

身体所見： 意識は清明。身長 174 cm, 体重 89 kg, 体温 37.5°C, 脈拍 86 回/分, 血圧 132/66 mmHg, 呼吸数 17 回/分。眼球結膜に黄染なし。呼吸音清明。心音に異常を認めない。腹部は平坦・軟で, 左側腹背部の自発痛を認める。心窩部に圧痛と反跳痛を認める。肋骨脊柱角 (CVA) の叩打痛は認めない。体動時・呼吸時の増悪は認めない。

■ 診断の進め方

特に見逃してはいけない疾患 (考えられる疾患をできるだけ挙げる)

ここに記入

頻度の高い疾患 (考えられる疾患をできるだけ挙げる)

ここに記入

■この時点で何を考えるか？ 医療面接と身体診察を総合して考える点

(可能性の高い疾患とその理由、除外診断とその理由などを挙げる)

ここに記入

診断仮説 (仮の診断) (可能性が高いと考えられる疾患を挙げる)

ここに記入

■ 必要なスクリーニング検査 (診断を絞り込むために必要な検査を挙げる)

ここに記入

■ 検査結果

血球・血液生化学検査: WBC 15,300/ μ L, AST 25 U/L, ALT 28 U/L, γ -GT 28 U/L, AMY 356 U/L, Ca 9.7 mEq/L, CRP 9.13 mg/dL, PT 10.0 秒, APTT 27.3 秒.

尿検査: 潜血陰性, 白血球陰性, 細菌陰性, AMY 2,800 U/L.

X線検査: 胸部は異常なし, 腹部は小腸ガスを認める.

超音波検査: 膵腫大と膵周囲の限局性腹水貯留を認める.

診断仮説（仮の診断）（可能性が高いと考えられる疾患を挙げる）

ここに記入

■ **診断確定のために**（必要な追加検査などを挙げる）

ここに記入

診断 (診断結果を記入)

ここに記入

■治療の基本方針 (診断を受けて必要な治療を挙げる)

ここに記入